

こんな活動です

みんなで支える桂川の学校 みんなで育てる桂川の子ども

福岡県桂川町	●活動名	桂川町学校支援地域本部	●関係する学校名	桂川町立桂川小学校 桂川町立桂川東小学校 桂川町立桂川中学校

協働活動開始年度	平成 28 年度	学校運営協議会	指定・設置日	令和2年4月1日設置	地域学校協働本部	有	
活動区分	学校支援活動	—	—	放課後子供教室	—	地域人材育成	
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	—	配置人数	3人	地域学校協働活動推進員等の数	—	配置人数	8人
ボランティアの数	延べ登録人数	562人	企業・NPO等との連携	無	ICT機器活用	無	
参考URL	二						
●連絡先	桂川町教育委員会 学校教育課			☎ 0948-65-1149			



●活動の概要・経緯
本町では、平成20年度から「生き生き桂川っ子」総合推進事業を始め、教育委員会と学校が中心となり、学校、家庭、地域、関係機関、団体と連携を図り、町内に存在する教育資源を生かしながら「町全体で、桂川町の子どもを育てること」の実現を目指している。平成28年度から、「桂川町まち・ひと・しごと創生総合戦略／人口ビジョン」をもとに、学校支援地域本部をスタートさせた。当該運営委員会は「生き生き桂川っ子」総合推進事業協議会をもって代替し、学校の支援に取り組んでいる。地域全体で学校を支援する仕組みを構築し、専門的な知識や技能を持った地域住民を学校に派遣することで、教育活動の活性化とともに地域住民の生涯学習や自己実現の推進を図っている。ボランティア人材の登録者が学校での授業や登下校での見守りなど子どもたちとのふれあいの中で、自分の存在感や成就感を感じてもらい、子どもの育成と地域の教育力の向上の相互利用を実施している。

● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

専門的な知識や技能を持った人が学校支援ボランティアとして、学校への授業支援、朝の読み聞かせ、地元伝承の太鼓の指導、部活動指導等を行っている。また、交通安全見守り隊、おはよう会の地域の方々、通学路での登校指導を行っている。令和元年度は、約4,258名(延べ人数)の方が学校支援活動を行った。

桂川町宿泊体験型施設「ゆのうら体験の杜」を活用して小学校5年生・中学校1年生が宿泊体験学習(セカンドスクール)を実施している。この宿泊体験学習では、自然豊かな場所で宿泊しながら、地元の土師焼の作品づくりなど、様々な体験を通して、人と人とのつながりの大切さを認識し、地域の魅力を認識することにより、子どもたちが生きる力を育むことをねらいとしている。

【実施に当たっての工夫】

地域住民の参画を促進するにあたって、コーディネーターが、地域で実施している講座などを参考に、地域の方々が自分の得意分野を発揮できるボランティア活動の募集チラシを作成し、広報を行っている。また、校長経験者をコーディネーターにすることで、学校運営や地域や家庭との連携のノウハウを生かし、地域の人材発掘を行っている。

【関係機関・団体等との連携状況】

学校支援活動、社会教育課の事業に携わった講師の情報を共有し、社会教育課・施設と連携を図っている。学校支援活動においてボランティア代表者と連携して、事前の段階から学校の要望を踏まえて、打合せや準備を行い、効果的に支援活動を実施するようにしている。令和2年4月1日現在で12団体(137名)が学校支援ボランティアに登録している。

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

学校支援地域本部がスタートして、昨年度で4年目を迎え、支援活動も徐々に浸透してきた。朝の読み聞かせや授業支援等に500名(延べ人数)を超える地域の方々に支援を得た。地元伝承の太鼓指導を通じて、子どもたちが地域を誇りに思うきっかけづくりとなった。また、登校時の安全活動によって、子どもたちの安全な登校につながっている。

セカンドスクール(2泊3日の体験活動)が始まって2年目を迎え、セカンドスクールに対しての理解も進んできた。地域の人材や団体との連携・協働が見られ、順調に活動が進めることができた。活動の感想などから、子どもたちの中には、人と人とのつながりの大切さや地域の魅力を感じることもできた。

● その他

交通安全見守り隊、おはよう会の地域の方々3,740名(延べ人数)が、通学路で登校指導を行っている。また、セカンドスクールでは、陶芸体験やグランドゴルフ体験学習を行っている。学校では経験できないことを体験し、子どもたちの活動の充実につながった。



毎朝の交通指導の様子



セカンドスクールでの体験学習